

ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>武庫川女子大学短期大学部は、「立学の精神」にうたわれる“高い知性”、“善美な情操”、“高雅な徳性”を兼ね備えた有為な女性の育成するため、本学の教育目標に掲げる以下の資質・能力を身につけ、所属する学科での卒業が認定された者に、専門分野の名称を付記した短期大学士の学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自ら課題を見つけ、実行に移すことができる。</li> <li>2. 主体的に学ぶ習慣、論理的に考える力を身につけている。</li> <li>3. 教養に裏付けられた豊かな心を身につけている。</li> <li>4. 高い倫理観に支えられた実践力・指導力を発揮できる。</li> <li>5. 専門的・職業的技術および知識を修得し、実践することができる。</li> </ol>	<p>武庫川女子大学短期大学部は、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を持った人材を育成するために、以下に示す科目分類を設け、教養教育と専門教育を体系的かつバランスのとれた教育課程を編成し、個々の授業を通じて学生の資質・能力を高めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 共通教育科目 幅広い教養と的確な判断力を養うとともに、心の豊かな人間性の涵養を図ることを目的とした授業を開講し、学生は自らの選択のもと、主体的に学びます。また、総合大学の特長を活かし、様々な専門分野を背景に持つ学生同士が、答えの無い課題に取組む授業を展開します。</li> <li>2. 基礎教育科目 専門教育への導入的役割を担う授業を開講します。全学的に実施している「初期演習」では、学生が主体的に学び、実践する姿勢を身につける他、学生相互の豊かで円滑な人間関係の基礎を養います。「初期演習」以外の科目では、専門的・実践的な学習に入る前段階として基礎知識の修得を重視した教育を行います。</li> <li>3. 専門教育科目 専門的・職業的知識を初歩から学び、実践力を身につける授業を開講します。各科目で学んだ知識・技術を統合し、自らの考えを論理的に説明、実践できる能力を修得します。</li> <li>4. 教職、司書に関する科目 各学科において主として育成する資質・能力に加え、将来の進路を視野に入れた資格関連科目を開講します。</li> <li>5. 特別教育科目 各学科において主として養成する資質・能力に加え、学生が社会とのつながりを強く意識し、女性として社会で活躍するためのキャリア形成を補完・拡充します。</li> </ol> <p>教育課程の編成にあたっては、開講学年・配当学期・科目ナンバリングをあらかじめ示すことで科目間の順次性・体系性を担保します。また、開講科目に設定される知識と技術を修得し、それらを活用するための能力を育成するために授業は、講義だけにとどまらず、学生を能動的な姿勢に導く教育手法を活用します。</p> <p>各科目の学修成果の測定と評価にあたっては、あらかじめ評価指標を明示し、適切・公正な評価を実施します。</p>	<p>武庫川女子大学短期大学部は、「立学の精神」にうたわれる“高い知性”、“善美な情操”、“高雅な徳性”を兼ね備えた有為な女性を育成するために、大学生生活を通してディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を養い、主体性・論理性・実行力を培う教育を実践します。その趣旨に賛同すると共に、入学前に以下の能力を有する女性の入学を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高等学校までの教育課程を幅広く修得し、基礎学力を有している。</li> <li>2. 積極的に勉学に励む姿勢を持っている。</li> <li>3. 将来に向けて明確な目的意識を持っている。</li> <li>4. 感性豊かな心と健やかな体を養っている。</li> <li>5. 多様な人々と協同して学ぶ態度を有している。</li> </ol> <p>開設する学科のそれぞれの専門性やディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を持つ人材像に対応する、透明性の高い公正な入学者の選抜試験を複数の機会および方法で行います。</p> <p>〈一般入試〉 幅広い基礎学力を有し、将来への目的意識を重視した選抜方法です。専門分野を学ぶために必要な基礎学力を測る1科目または2科目の学科試験によって能力を判定します。 また、各学科が指定する大学入試センター試験の成績によって能力を判定します。</p> <p>〈推薦入試〉 本学への入学実績の高い高等学校長の推薦を受け、志願者の本学で学ぶことを強く望む姿勢を重視した選抜方法と志願者が、高校生活の中で努力してきたこと、身につけてきたことを重視する選抜方法があります。調査書、志願理由書、面接等によって能力を判定します。</p>